

2025（令和7）年10月1日

2025（令和7）年度関西保育福祉専門学校

第1回教育課程編成委員会報告

本校の教育課程編成委員会設置要綱に基づき設置した教育課程編成委員会において、第1回教育課程編成委員会を開催いたしましたので、概要をお知らせいたします。

1 開催期日 令和7年9月24日（水）15:00～17:00

2 開催場所 関西保育福祉専門学校 2F 校長室

3 出席者

■ 教育課程編成委員

NO	委員名	所属等	出欠
1	下里 里枝 委員	関西国際大学 教育学部 教育福祉学科 非常勤講師	出席
2	上杉 泰章 委員	社会福祉法人 尼崎市社会福祉協議会 事務局長	出席
3	片井 由美子委員	尼崎市役所 保育運営課 保育士・保育所支援センター	出席
4	北島 孝通 委員	幼保連携型認定こども園 庄内子どもの杜幼稚園 園長	出席
5	山元 拓馬 委員	社会福祉法人 福成会 サポートセンターまつば 施設長	出席
6	黒岩由美子 委員	社会福祉法人 ふたば福祉会 塚口北ふたば保育園 園長	欠席
7	藤田 千波	保育科学科長 就職委員長	出席
8	榎本 優人	教務委員長 教育課程編成委員会担当	出席

■ 学校教職員

NO	名前	所属等	出欠
1	本田 あけみ	校長 関西国際大学社会学部 教授	出席
2	藤井 和子	保育科教員	出席
3	阪本 満	保育科教員 情報教育担当	出席
4	清水 智子	保育科教員	出席

4 概要

(1) 校長挨拶

(2) 報告

各報告について、委員より以下の通りの意見や質問があった。

報告事項1 「教育課程編成委員からのご意見とその対応」について

- ・学生の実習に対する学校側の配慮はありがたいと感じている。少しでもミスマッチとならないよう、受け入れ側である園でもしっかりと体制を整えて実習をお引き受けできるよう努めている。

報告事項2 学校の現状について

- ・スクールカウンセラーの効果はどうか
(回答) 相談室への相談もさることながら、スクールカウンセラーの講師に、学生の休み時間等を利用して学生の中へ入っていただき、現状把握等に努めてもらっている。

(3) 協議

報告事項1 2025(令和7)年度の取り組みについて

以下の通り、委員より意見及び指摘事項があった。

① 2025 年度 関西保育福祉専門学校 事業計画

- ・Instagram が盛んに更新されており、魅力発信に積極的に努めておられると感じる。一方で、今後の展開として踏襲するだけでなく、常にブラッシュアップを心掛けながら、「今」の生徒たちにどう伝えていくか(発信していくか)、引き続き検討事項ではないだろうか。
- ・生成AIを使わないという選択肢はもはやなく、どのようにそれと向き合っていくかということが重要ではないだろうか。また使用するにあたってルール化が必要ではないだろうか。
- ・オープンキャンパス等、現役の学生を巻き込んだ形での、さらなる学校PRが求められるのではないかと。(学生の参画)

②保育科の取り組み

- ・世間でも話題にあがっているが、人権感覚を身に着ける重要性を強く感じる。今の学生さんは体験不足が否めず、何かしら外化する行為が重要であると感じている。
- ・「体験不足感」は同様に感じており、その体験不足をどう補っていくかがポイントではなかろうか。その環境づくりを保育者養成校が目指すことができれば新たなセールスポイントとなるのではないかと。
- ・実習の手引き(マニュアル)の作成について、外部の協議会とも連携を図りながら統一的な指導が行えるよう、学校側も動いておられることは大変良いことであると思う。
- ・先生方のご努力が伺える。元公立保育所の所長として、現場側も実習生を丁寧に受け入れることは非常に重要なことであると感じている。

③ICT アンケート結果について

- ・生成AIについて実習記録等での利用が見受けられるようになってきた。先ほどもあったとおり、禁止するのではなくそこからどのように二次利用を行っていくかが課題であり、学生にとって何かヒットする文言を用いた上で使用に関するルールを構築してはどうだろうか。

(その他)

第2回の会議は、2026年の2月25日水曜日に予定している。